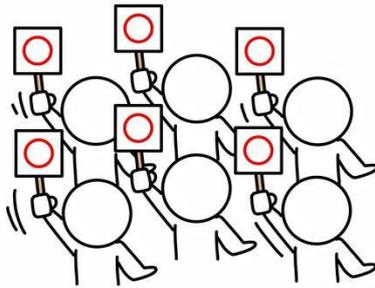
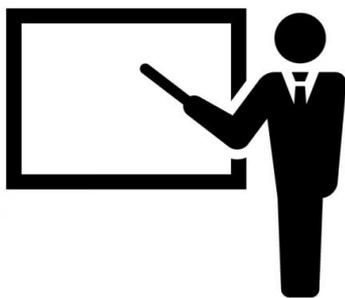


第2回（2025年度）

四日市 まちづくりプレゼンテーション大会 & 政策・事業構築事業 実施要項

- 説明会 2025年5月 日 なやプラザ
- 応募期間 2025年5月1日(木)～7月31日(木)
- 書類審査 2025年8月 日
- プレゼンテーション大会 2026年1月 日(土)13:00～16:30
四日市商工会議所（交流会は16:45～18:00）



主催 四日市 NPO 協会・四日市市議会議員有志

お問合せ先： 事務局 NPO法人市民社会研究所
四日市市諏訪栄町3-4 ssk21ww@yahoo.co.jp 059-355-5115

1 目的

- (1) NPOが社会課題に自発的・先進的に取り組む活動を通じて得られた問題意識を基に、魅力的な政策提言や事業案にまとめあげ、レベルの高いプレゼンテーションを行うことによって、NPOの存在感と、政策・事業の提案力の強化を図る。
- (2) 他団体と連携し、若い世代が同様のプレゼンテーションを行う場を併せて設け、社会課題に主体的に取り組む市民文化の世代継承を図る。
- (3) NPO相互、若い世代とNPOの交流とつながりをつくる。
- (4) プレゼンテーションした事業や政策に対して、多様な関係者が参画して実現する機会をつくり、市民協働による政策形成や事業の実現を図る。

2 主催等

- (1) 主催 : 四日市NPO協会・四日市市議会議員有志
四日市市
- (2) 協力 : NPO法人Kotoisa (子ども (小～高校生) の部を担当)
(公財) ささえあいのまち創造基金
- (3) 後援 : 株式会社シー・ティー・ワイ

3 事業内容

(1) 全体の流れ

		2025年度											2026年度			
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
事項	準備	募集開始	子ども…他団体が実施		NPO…応募へ働きかけ	書類審査・NPOのみ	② ① ブラッシュアップ 提案内容の改良 プレゼン練習 (2回)				公開プレゼン審査	多様な主体による政策・事業構築 ① タイプ A 行政による制度化や事業化 B NPO自身による事業化 ② 検討への参画 提案NPO、他のNPO、事業者、行政、議員など				

(2) NPOの部

- ① 応募対象者
四日市市内で活動する非営利の市民組織 (法人格の有無や種類を問わない)
- ② 募集する政策または事業
 - ア) テーマ 自由
 - イ) 内容 各団体が日常的に取り組んでいる活動から得られた問題意識を基に、課題解決につながる魅力的な政策や事業に構築したもの
 - ウ) 様式 別途定める

③ 募集期間

2025年5月1日（木）～7月31日（木）

④ 書類審査（8月）

四日市 NPO 協会・四日市市市議会議員有志・四日市市が応募された提案の中から
3件の提案を選定

⑤ ブラッシュアップ（9～12月）

ア) 四日市 NPO 協会が仲介する他の NPO 等の協力や参加による提案内容の充実
イ) 公開プレゼンテーションに向けた専門家によるプレゼントレーニング（2回）

⑥ 公開プレゼン大会&交流会（1月 日 13:00～）

ア) プレゼン大会（会場は四日市商工会議所の予定）

プレゼン

- ・子ども・若者2グループ（小学生5分程度、高校生10分程度）
- ・NPO3団体（各15分）

イ) 各プレゼン終了後、アドバイザーからアドバイスと質問、一般から質問を受け付ける。

ウ) その後、アドバイザーと一般参加者全員による審査を行う。

審査方法については③参照

アドバイザーと一般参加者は各団体へのメッセージを書く

*審査で○をつける場合は、氏名と連絡先を記入の上、何に協力したいかを書く。

エ) 交流会

終了後、参加者相互が交流する場をもつ

オ) プレゼン大会の審査への参加者

【アドバイザー：提案内容についてアドバイスを提供】*2024年度の実績

岩崎 恭典	公益財団法人ささえあいのまち創造基金代表理事 四日市大学名誉教授
山下 二三夫	四日市商工会議所専務理事
別府 孝文	株式会社三十三総研調査部長
酒井 亮輔	連合三重三泗地域協議会副議長
藤井 恵理	ワーカーズコレクティブネットワークジャパン代表
加納 康樹	四日市市議会議員
未 定	四日市市市民生活部市民協働安全課課長

【一般参加者：市民、議員、行政、NPO、地域団体、企業など】

カ) 審査方法

I、IIの2回に分けて札を上げる。

I 提案内容自体の評価	II この提案に何らかの参加を希望 (活動参加、寄付、場所や物資の提供など)
A：すばらしい提案	○
B：よい提案	
C：あと少しでよい提案	



キ) ポスターセッション

5～7月の募集期間中に応募し、審査にもれた場合であっても、希望する団体はプレゼン大会の会場でポスターセッションをおこなうことができる。

(3) 子ども(小～高校生)の部

これを実施する団体と連携し、円滑な実現に向けて協力を行う。

(4) 政策・事業構築(原則翌年1月～2026年度)

公開審査で選定された提案に対して、多様な主体による協働の検討の場を設け、政策または事業の実現を図る。実現にさらに時間を要する場合は検討を継続する。

・タイプA(行政の事業化・政策化)

→ 可能なものについては、次年度以降の予算化を図る。

予算化以外にも新たな政策化や、制度等の改変に向けたや国・県等への働きかけも行う。

・タイプB(民間での事業化)

→ 必要に応じて、寄付金募集や各種助成金の申請支援など、必要な支援を行う。

4 今後の展開

2026年度以降も2025年度と同スケジュールで継続的に実施する。